



社内ポリシー

- [DisableMFTForConversationTypes](#) (1 ページ)
- [Disallowed_File_Transfer_Types](#) (1 ページ)
- [File_Transfer_Enabled](#) (2 ページ)
- [H264HighProfileEnable](#) (2 ページ)
- [PreferredFT](#) (2 ページ)
- [Screen_Capture_Enabled](#) (3 ページ)
- [ShowScreenCaptureButton](#) (3 ページ)

DisableMFTForConversationTypes

デスクトップクライアント向け Cisco Jabber に適用されます。

[マネージドファイル転送 (Managed File Transfer)] オプションをユーザに使用できる場合は、`DisableMFTForConversationTypes` パラメータを使用して、次の会話タイプの [マネージドファイル転送 (Managed File Transfer)] オプションを使用不可にします。

- `P2P` : マネージドファイル転送がピアツーピア会話に対して無効になります。
- `GroupChat` : マネージドファイル転送がグループチャットに対して無効になります。
- `PersistentChat` : マネージドファイル転送が常設チャットルームに対して無効になります。

`P2P;GroupChat;PersistentChat` のように、複数の会話タイプをセミコロンで区切ります。

例 : `<DisableMFTForConversationTypes>P2P;PersistentChat</DisableMFTForConversationTypes>`

Disallowed_File_Transfer_Types

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

ユーザによる特定のファイルタイプの転送を制限します。値として、`.exe` などのファイル拡張子を設定する必要があります。

複数のファイル拡張子を区切るには、セミコロンを使用します
(例: .exe;.msi;.rar;.zip)。

例: <Disallowed_File_Transfer_Types>.exe;.msi</Disallowed_File_Transfer_Types>

File_Transfer_Enabled

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

ユーザが、Cisco Jabber クライアントを使用して他のユーザとファイルを交換できるかどうかを指定します。

- true (デフォルト) : ユーザはファイルを交換できます。
- false : ユーザはファイルを交換できません。

例: <File_Transfer_Enabled>>false</File_Transfer_Enabled>

H264HighProfileEnable

Windows 版および Mac 版 Cisco Jabber に適用されます。

このパラメータを使用して、H. 264 ハイプロファイルを使用することができます。

- false (デフォルト): H.264 は、Jabberでベースラインプロファイルを使用します。
- true: H. 264 は、Jabberでハイプロファイルを使用します。

例: <H264HighProfileEnable>>true</H264HighProfileEnable>

PreferredFT

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

Cisco Unified Communications Manager IM & Presence サーバが**マネージド ファイル転送**と**ピアツーピア ファイル転送**の両方を提供している場合、このパラメータは Cisco Jabber クライアントで優先されるファイル転送方式を指定します。

- MFT : ファイルはマネージド ファイル転送オプションを使用して転送されます。
- P2P : ファイルはピアツーピア ファイル転送を使用して転送されます。

このパラメータが定義されていない場合は、クライアントが Cisco Unified Communications Manager IM and Presence ノードをチェックしてマネージドファイル転送が使用可能であれば、そのオプションを使用します。そうでなければ、ピアツーピア ファイル転送を使用します。

例: <PreferredFT>P2P</PreferredFT>

Screen_Capture_Enabled

デスクトップクライアント向け Cisco Jabber に適用されます。

ユーザが画面キャプチャを取得できるかどうかを指定します。

- true (デフォルト) : ユーザはスクリーン キャプチャを取得できます。
- false : ユーザはスクリーン キャプチャを取得できません。

例 : <Screen_Capture_Enabled>>false</Screen_Capture_Enabled>

ShowScreenCaptureButton

デスクトップクライアント版 Cisco Jabber に適用されます。

スクリーン キャプチャボタンを有効にするかどうかを指定します。

- true (デフォルト): スクリーン キャプチャボタンが有効になります。
- false: スクリーン キャプチャボタンが無効になります。



(注) このパラメータを無効にすると、Windows ではスクリーンキャプチャボタンは非表示になり、Mac では無効になります。

例: <ShowScreenCaptureButton>>false</ShowScreenCaptureButton>

